

平成22年度 第4回 石巻しんきん経営塾を開催いたしました 「タック川本講演会・懇親会」

- | | | |
|----------|---------------------------------|--------|
| 1. 日 時 | 平成22年10月5日(火) | 18時から |
| 2. 開催場所 | 石巻市役所 6階 市民ホール | 参加者60名 |
| 3. 講 師 | タック川本 氏 | |
| 4. テ ー マ | 「いかにして自分の夢を実現するか」～メジャー流人間力の作り方～ | |



研修グループリーダー毛利氏より挨拶



講師：タック川本 氏



川本氏より帽子のプレゼント



会場風景



塾生より質問



タック川本氏と参加塾生の記念撮影

<平成22年10月16日 石巻かほく新聞記事掲載内容>

川本氏さんは「米国では、経営戦略はメジャーリーグに学べ、出世したければジョークを学べ、とされている」と前置きし、メジャー球団の人材育成の仕組みを紹介した。

メジャー30球団の多くは8軍まで抱えて、ドラフトやフリーエージェントなどで年間約2000人を雇う。高卒のドラフト入団1年目の月給は850ドルであり、頂点を目指す競争原理が働くという。チームは選手を5軍でじっくり鍛え、力を付けた選手は徐々にランクを上げていく。

この過程で、野球をするために大切な道具である体に付随するものとして、社会性や人間性が求められる。そのために野球以外のことも学べと言われる。野球の技術と人間性を身に付けて1軍に

上がるまでに平均 5 年 4 ヶ月かかる。ただ、95%はメジャーの選手になれないという。こうしたメジャー流人材育成の観点から、一流の人間・成功者になるための条件として、拒否されてもひるまない 高い理想をもつ 予想以上の心遣いができる 自己満足しない 収入の何割かを他人のために使えるを挙げた。

<平成 22 年 10 月 11 日 石巻日日新聞記事掲載内容>

川本氏はメジャーリーグのシステムについて説明。アメリカでは月給 2 億円から 10 万円以下まで、人種、年齢などさまざまな個性をもった選手たちが各球団に所属している。

入団当初から華々しく活躍するケースは珍しく、名選手たちもほとんどはルーキーリーグ（5 軍）から地道な努力で勝ち上がってくるという。

川本氏は「年間 2 千人ほどの選手が野球を辞めていく中で、成功のカギは人間力」と強調。じっくりと自分の才能を開花させてから活躍する「アサガオよりも遅咲きの花となれ」というリーグに伝わる格言も紹介した。